

世紀の

20世紀：ジェフスキ
《「不屈の民」変奏曲》

巨大変奏曲 その3 (全3回)

講師 ◆ 山田 剛史

2024/9/7(土) 14:00
~16:30

受講料 ◆ 3,300円 定員 ◆ 50名 会場 ◆ 学園創立50周年記念館ホール

内容 ◆ 変奏曲とは、ある主題を少しずつ装飾、変形させていくという、最も古くからある楽曲の形式のひとつです。ある種即興的に、無限に続けていくこともできる形式なのですが、そこに秩序やコンセプトを持ち込み、見上げるほどの大伽藍を築き上げた作曲家がいます。バッハ《ゴルトベルク変奏曲》(18世紀)、ベートーヴェン《ディアベリ変奏曲》(19世紀)、ジェフスキ《「不屈の民」変奏曲》(20世紀)。各世紀を代表する演奏時間約1時間の巨大変奏曲を、各回一作ずつ取り上げ、その全容をお話と演奏によって紐解いていきます。

最終回である今回は、ベートーヴェン《ディアベリ変奏曲》に匹敵する大作をという委嘱により、ポーランド系アメリカ人であるフレデリック・ジェフスキが1975年に作曲した《「不屈の民」変奏曲》です。チリの民衆の抵抗歌を主題とし、政治的なメッセージも含まれますが、同時にバッハやベートーヴェンを超越する巨大な構造を作ろうという意欲に満ち、変奏の数は36に及び、それは6×6の、実に現代的でシンメトリックな構造を作ります。

後期ロマン派から現代音楽、フォルクローレからミニマル・ミュージック、即興まで、20世紀のあらゆる音楽シーンを包括しており、一曲聴いていただくことでまるまる“20世紀そのもの”を体験していただける作品です。クラシックというジャンルを超えて人気の高い、記念碑的名作をお楽しみください。

持参物 ◆ 簡単な資料を当日配布します。

講師
紹介

やま だ たか し
山田 剛史

ピアニスト

国立音楽大学非常勤講師／東京学芸大学非常勤講師

東京藝術大学大学院修士課程を首席で修了、クロイツァー賞受賞。ローム ミュージック ファンデーションの奨学生としてケルン音楽大学に留学、国家演奏家試験に合格。クラウディオ・ソアレス、迫昭嘉、ニーナ・ティシュマン、アントニー・シピリの各氏に師事。2007年第5回東京音楽コンクールピアノ部門第1位および聴衆賞。ソリストとして秋山和慶氏指揮東京交響楽団はじめ共演多数。室内楽・歌曲伴奏にも定評があり、東京オペラシティ「B→C」、東京・春・音楽祭等に出演。

古楽の基本理念を背景としたJ. S. バッハの演奏解釈に定評がある一方、テッセラ音楽祭「新しい耳」でのジェフスキ《「不屈の民」変奏曲》、ベートーヴェン《ディアベリ変奏曲》といった大作の演奏が話題を呼ぶ。CD「モダン・エチュード」(レコード芸術誌特選盤)。国立音楽大学および東京学芸大学非常勤講師。秋吉台ミュージック・アカデミーにてマスタークラス講師。

後援: PTNA 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)



©Masaaki Hiraga

♪ 上記以外にも楽しい講座を沢山ご用意しております。お気軽にお問合せ下さい。♪

お問い合わせ
お申込み先

東邦音楽大学エクステンションセンター

〒112-0012 東京都文京区大塚4-46-9 Tel.03-3946-9667 Fax.03-3946-2455 <https://www.toho-music.ac.jp/>